

【 令和8年度総括評価表 】

| 自己評価 | | | | 学校関係者評価 | 次年度への課題と今後の改善方策 |
|---|---|---|-----------|----------|-----------------|
| | | | | 学校関係者の意見 | |
| 重点課題 | 重点目標 | 評価指標と活動計画 | 評価 | | |
| | | 評価指標 | 評価指標の達成度 | 総合評価 | |
| 不登校経験者が多く、学習や学校への登校に対する意欲に乏しい者が多い。 | (全体) 日中はアルバイト、夕刻より登校するという生活習慣を身につけさせ、規則正しく登校し、落ち着いた生活態度で、学校生活を充実させようとする姿勢を育てる。 (各課・各教科) ①欠席者の減少・授業の充実(教務課) ②アルバイト等への従事の督励(進路指導課) ③学校行事の充実(特別活動課) ④交通安全教育の徹底(生徒指導課) ⑤豊かな人間関係を育む人権教育(人権教育課) ⑥生活習慣を整えようとする態度の育成(厚生環境課) | ①-1出席率 90% ①-2要補講生徒の割合 20% ①-3生徒の授業に対する充実度 90% ② アルバイト等従事者 80% ③-1学校行事の出席率 90% ③-2学校行事の充実度 90% ④ 交通事故発生件数 0件 ⑤ 人権教育合同授業後のアンケートにおいて、人権に関する知識および意識の向上を自己評価した生徒の割合 65% | | (所見) | |
| | | ⑥-1「自身の健康に関心がある」と回答する生徒の割合 80% ⑥-2自身の生活習慣上の健康課題がわかったと回答する生徒の割合 65% | | | |
| | | 活動計画 | 活動計画の実施状況 | | |
| | | ①-1生徒の実態に応じて魅力ある授業作りを実践し、出席率の向上につなげる。 ①-2少人数であることを生かして、丁寧な個人面談を実施する。 ② 普段の会話や面談を通じて生活状況や本人の希望を把握し、アルバイト等への意欲をうながす。 ③生徒会主催で行事を工夫し、活性化・魅力化を図る。 ④-1原付や乗用車などの通学使用車両の点検を行い、整備不良車、違法改造車の使用を禁止する。 ④-2登校時間帯の学校周辺の巡視及び挨拶運動と兼ねて、通学車両の確認や安全運転の声かけを実施する。 ⑤ 学期末に人権教育合同授業を実施し、生徒の人権に関する知識および意識の向上を図る。 ⑥-1学期に一回生活リズムチェックを実施し、振り返る機会を設け、自分の健康課題を一つ決める。 ⑥-2各自の健康課題に合った健康行動が実践できるよう、個別にアプローチする。 | | | |
| 自己肯定感が低く、内向的な生徒が多い。諸活動に対して消極的になりがちである。考え方が利他的で、将来への展望をもって今の行動を考える力に乏しい。 | (全体) 1)基礎学力の定着を図ると共に、個別指導によって個性や希望に応じた力を身につけさせる。 2)目標を持って取り組み、達成する喜びを味わわせる。 3)キャリア教育を推進し、卒業後自立して生きられる生徒を育てる。 | 評価指標 ①-1教師の授業がわかりやすいという生徒 95% ①-2基礎学力コンペの受験率 90% ①-3基礎学力コンペの平均点 60% ①-4各学期の欠点数 10未満 ②-1資格試験を受験した生徒 のべ25人 ②-2資格試験に合格した生徒 のべ20人 ②-3自発的な各種創作物の出品者 のべ5人 ③-1進路ガイダンスを通して「視野が広がった」と応えた生徒の割合 80% | | (所見) | |
| | | | | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---------------------------------|-------------------------|--|--|
| | <p>(各課・各教科) ①基礎学力の定着 個別指導の実施 (教務課) ②資格取得の奨励 各種創作物の出品 (各教科) ③進路情報の収集と生徒への伝達 (進路指導課)</p> | <p>③-2 二学期初めの進路志望調査で「未定」と書く者 15%未満 ③-3 卒業生の進路決定率 100%</p> <p>活動計画</p> <p>①-1 調査発表後をフォローアップウィークとし、各教科で授業内容の振り返りの時間を設ける。 ①-2 調査前一週間の放課後に「質問タイム」を実施し、個別の質問に対応する。 ①-3 学力差の大きい理数系の授業にT・Tや習熟度別授業を展開する。</p> <p>②-1 検定通教育振興会からの教育活動支援金を活用した検定試験応援キャンペーンを継続する。 ②-2 22学年で日本語検定、3学年で情報処理検定の全員受検を実施する。 ②-3 総合的な探求の時間に「創作講座」を設け、絵や書の好きな生徒に創作活動の場を提供する。</p> <p>③-1 校内進路ガイダンスを外部の方を招いて実施し、生徒の視野を広げ、進路について考える機会を設ける。 ③-2 ハローワーク、全日制就職課と連携しながら、定時制単独の求人を獲得すべく職場訪問を計画的に実施する。</p> | <p>活動計画の実施状況</p> | | | |
| <p>社会の出来事に対する興味関心が薄く、自分の意見を持って他者と議論する力に乏しい。</p> | <p>(全体) 地歴・公民科をはじめとした各教科の授業やホームルーム活動、学校行事等の充実を図り、広い視野を持ち、主体的に発言や行動ができる生徒を育てる。</p> <p>(教科・各課) ①自ら考え判断するために必要となる基本的事項を理解する。 (地歴・公民科) ②生徒が主体性を持って取り組む学校行事の実施 (特別活動課)</p> | <p>評価指標</p> <p>①-1 地歴・公民科の授業評価アンケートにおいて、主権者としての知識および意識の向上を自己評価した生徒の割合 65% ①-2 主権者教育出前講座後のアンケートにおいて、主権者としての知識および自覚の向上を自己評価した生徒の割合 65% ①-3 租税教室後のアンケートにおいて、税に関する知識および意識の向上を自己評価した生徒の割合 65% ①-4 消費者教育出前授業後のアンケートにおいて、消費者としての知識および意識の向上を自己評価した生徒の割合 65%</p> <p>② 行事の運営や準備に、主体的な活動をして参加できた生徒の割合 90%</p> <p>活動計画</p> <p>①-1 地歴・公民科の授業において、生徒が毎時間ニュースを発表する活動を通して、主権者としての知識および意識の向上を図る。 ①-2 主権者教育出前講座を実施し、生徒の主権者としての知識および自覚の向上を図る。 ①-3 租税教室を実施し、生徒の税に関する知識および納税者としての自覚の向上を図る。 ①-4 消費者教育出前授業を実施し、生徒の消費者としての知識および意識の向上を図る。</p> <p>③ 生徒会だけでなく、全員が、行事作りに主体的に活動できる機会を創出する。</p> | <p>評価指標の達成度</p> <p>評価指標の達成度</p> | <p>総合評価</p> <p>(所見)</p> | | |

【備考：「総合評価」における「評定」の基準】 A：十分達成できた、 B：概ね達成できた、 C：達成できなかった